

## 板橋トラックターミナルの全体再開発を推進



<板橋トラックターミナル全景>

### 【板橋トラックターミナル概要】

住 所: 板橋区高島平 6-1-1  
敷地面積: 115,828 m<sup>2</sup>  
供用開始: 昭和 45 年 10 月  
バース数: 320 バース  
アクセス: 都営地下鉄三田線  
「西高島平駅」徒歩 1 分  
首都高速池袋線  
「高島平 IC」から 1.8km

日本自動車ターミナル株式会社(本社所在地 東京都千代田区・代表取締役社長 秋山 俊行)は、このたび板橋トラックターミナル(板橋区高島平)の全体再開発を推進することいたしました。

当社は、首都「東京」が抱える物流の課題に応える大都市物流戦略「メロポリタン・ロジスティクス※」の具現化に向けたトラックターミナルの再開発を進めております。

板橋トラックターミナルにおきましても、ご利用頂いておりますトラック運送事業者の皆様のニーズや多様化する新たな需要に応えるため、平成 33 年着手を目指して、再開発の実施計画を策定してまいります。

供用開始後 47 年を迎える板橋トラックターミナルでは、施設の老朽化とともに、地下配送センターにおける天井有効高の不足や車両の進入制限等の機能低下がみられるため、全ての既存荷扱場の解体を順次行い、荷扱場と配送センター機能を併せ持つ高機能型複合物流施設を建設し、土地の有効活用を図る予定です。

また、災害に強いトラックターミナルの構築に向けて免震構造の採用や、環境対応として省エネ機器の採用、豊富な緑地の配置、利用者の憩いの空間づくり等も計画していきます。

なお、京浜トラックターミナルでは、高機能型物流施設「ダイナベース」の平成 30 年 7 月竣工に向け、本年 3 月より建設工事に着手いたしました。

葛西トラックターミナルについては、利用者のニーズに応えるオーダーメイド型施設の計画を推進しております。

今後も日本自動車ターミナル株式会社は、首都圏物流のニーズと社会の諸要請に応え、物流環境の変化に的確に対応した新しいトラックターミナルの創造を進めてまいります。

※首都圏における物流拠点に求められる4つのアドバンテージ①リードタイム(配送時間の短縮)②レイバー(労働力確保)

③キャリアリンク(輸送モードの連携)④コンティニューイティ(事業継続)を備えた施設



日本自動車ターミナル株式会社  
Japan Motor Terminal Co.,Ltd.

問い合わせ先 総務部 企画課  
(住所)東京都千代田区平河町 2-7-9  
(電話)03-3556-0783